

県民の森だより

紙上ギャラリー

県民の森に生育する植物を描いた大和敬子さんの植物画と文を掲載します。彩色・A4版の作品です。

あけぼのしゅすらん(らん科)



森ではカラマツ林の林床にひっそりと咲く。花が曙色で葉に繻子のような艶がある蘭なので「曙繻子蘭」と名づけられたという。

ひと抱えもある長い倒木が、全身を苔や下草に覆われて横たわる林床は、地形のゆるやかな起伏のままに広がり、木漏れ日がちらちらする。様々な下草が敷き詰めたように生える一画に、ぼっかり空いた畳半畳分ほどの部分の緑が濃く深い。藍を滲ませたような緑だが、暗くはない緑の群落。見る角度によって葉に柔かい艶が見える。

丈はせいぜい10cmもあるうか、細い茎の下部は所々から根を出しながら地を這い、上部が立っている。その緑の中に点々とやわからなくなす紅色の花のかたまりが見える。花は横に向き、集まって顔を寄せ合う少女のよう。白い花びらの外側が、あけぼの色をうつつらと刷いたばかりなのだ。平開しない花は、口をとがらせた横顔を思わせる。

昔トガクシシヨウマの花を初めて見た時、友人に「この花、何色と言いましょうか。」と訊ねられた。迷った。ピンクなどとは言いたくない。考えあぐねた挙句「トガクシシヨウマ色!」と叫んで大笑いになったつけ。又、アケボノシユスラン色と言おうか。

小さく、か細い花ながら常緑である。林床には濃く深い緑の群落が方々にあった。

岩手県 県民の森管理事務所 **森林ふれあい学習館** アイ
フォレストi

〒028-7302
 岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5
 TEL・0195-78-2092
 FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail foresti@mist.ocn.ne.jp



Access アクセス

開館時間 9:00~16:00
 休館日 毎週火曜日 (ただし、祝祭日の場合は翌日)
 駐車場 第1駐車場 20台 (身障者、大型用駐車場あり)
 第2駐車場 約50台

県民の森ガイド

七滝迄の登山道を整備



岩手山登山道七滝コースの中、トレッキングコースとして利用されている七滝までは、県民の森が管理しています。5月末、登山口から七滝までの中間地点にある熊棚から先の笹を刈り、倒木なども整理しました。

また、分岐点に「登山道コース」「林道コース」の新しい道標を設置した他、七滝への表示も増設しています。笹が茂っていたので、しばらく通らなかった登山道コースを歩いてみました。二三年続いた夏の大雨にえぐられて、歩き難い場所が少しだけあり、トレッキング気分を満足させる感じです。

あまり人が歩かなかった道は自然が回復するのでしょうか、ズダヤクシュが群れるように咲いていました。ササバギンランやミヤマカラマツが道しるべのように点々と咲いていて、滝が近い事を知らせています。針葉樹の林床は落葉が分解し難く、積もり重なって、ふかふかの絨毯のようです。いつもの場所に、コケイランが一本静かに咲いていました。今年も出会うことが出来て一安心です。林床の高い方の斜面には、いつの間に増えたのかササバギンランの花盛り。滝音が一段と高くなった道の両側は、ミヤマカラマツの群落。梅雨時の雨上がり、樹木の緑に包まれる七滝は、溢れる生気で一杯です。飛沫を浴びていると若返ってくるような気がします。皆様もぜひ一度お訪ねください。

ベランダの野鳥

～ソング～

ホトトギスの声を実際に聞いたのは、30年近く前。ホトトギスについては「鳴いて血を吐くほととぎす」「東京特許許可局」等と知ってはいたものの、街中の暮らしでは縁の遠い野鳥でした。

山林に暮らす今、3時頃から鳴き始めて日中は中休み、夕方から時には夜中にも、けたたましく張り上げる声を聞く毎日です。一昨日の朝カッコウが鳴きました。草地に棲むカッコウが、この山林に来るのは珍しいこと。でもホトトギスとは同じ仲間のカッコウ科、脇腹の横斑やウグイスへの托卵など似ています。遊びに来たのでしょうか。向かいの笹藪では、かなり上達したウグイスが谷渡りも交えて鳴いています。笹藪の上の木立から「キョキョ キョキョキョキョ」ホトトギスの声です。ウグイスの巣で、育っている我が子に、呼びかけているのかも知れません。

数日前、夢うつつに春先の猫の声を聞いたような気がしました。そんな筈はなく、アオバトかと期待しましたが…。今朝6時「アオー アオアオアオー アオーアオー」間違いなく、アオバトです。県立博物館の野鳥展で、何度も聞いた鳴き声でした。緑陰が深く姿は見えませんが、仲間が増えたようです。

皆既日食は、天空最大のショー…

7月22日は、日本の一部で皆既日食が見られます。奄美大島北部、屋久島、種子島南端、トカラ列島などでは皆既日食です。月の縁から漏れる太陽の光が最も魅力的で美しいのですが、太陽の下では見られない真昼の星空も魅力です。冬の星座の1等星や水星、金星、火星、土星などが見える筈ですから。何と贅沢な眺めでしょうか。観測のための豪華客船は、去年中に満杯状態とか。岩手県では、10時頃～12時過ぎまで約2時間20分間の部分日食。最大は11時過ぎで、6割位の食が見られます。

次の国内での皆既日食は26年後の2035年です。どうか晴れますように。

前月行事から

タケノコ採り

6月14日(日)一行23名で松川方面の山へ出発。スタッフ7人で班編成し、遭難防止を心がけました。現場下見を三回程行って準備した結果、皆様にご満足頂けたようです。初めてのタケノコ採りに大感激の方、プロ並みの収穫をされた方等々。昼食には味噌汁やタケノコ料理がサービスされた他、タケノコのお土産と温泉入浴券付き。お得な行事でした。

タケノコ採り



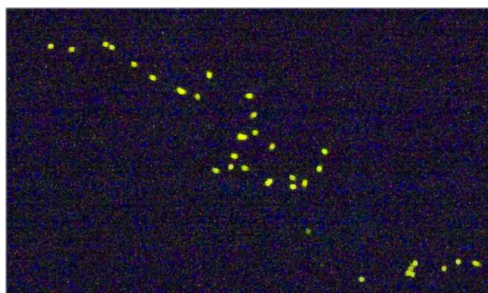
EM菌普及
6月14日午後
土壌環境を良

好にし、植物への穏やかな栄養供給等、自然環境を保全する働きのあるEM菌講習会を行いました。効用等を受講後、EMボカシと活性液作りを実習。お土産付きでした。



ホタルウォッチング

7月5日(日)県民の森の「野鳥の森」に生息するヒメホタルの観察会を行いました。近隣ホテルに滞在中の関西方面のお客様が、大勢参加されました。ヒメホタルの生態や観察のマナー等をご理解頂き出発です。7時半、岩手山の東山頂近くから月の出。それだけで歓声が上がっています。午後8時、ヒメホタルのシグナルはピーク、光の海となりました。



森林育成クラブセミナー

6月28日 東北環境研理事の高橋秀洋氏を講師に迎えて、森づくりの勉強会を行いました。植栽活動のキーワード等を学び、寄贈された苗の鉢替え作業の実習です。飛入りの親子も交えて、日盛りの午後、良い汗を流しました。



県民の森でクイズラリー！！

県民の森にクイズラリーのコースを作りました。数字順に立札を探し、その場所で森に因んだ問題に答えながら、アップダウンの道を歩く40分程のコースです。

大人も子供も一緒に楽しめるクイズラリーを、ご利用下さい。

八幡平押し花アート展開催中

倉野美智子「八幡平押し花アート教室」の作品を展示しています。初夏の草原を彩る作品が揃いました。

場所：学習館2階ギャラリー
期間：7月1日～7月31日



木材工芸センター情報

木材工芸センターは、木工製品販売とお客様の手作りのお手伝いをしています。

あなたも是非トライして見ませんか！



調味料入れ
¥800

野鳥巣箱
¥1,000



県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品です。今月は、あずきなし（ばら科）です。



県民の森周辺フィールドから

県民の森周辺にも、魅力的なスポットがあるようです。足を延ばして訪ねることにしました。

マタタビ (マタタビ科)

上：花 下：葉



スイレン
(スイレン科)



初夏のフィールドから

クジャクチョウ

オトギリソウ

(オトギリソウ科)



クモキリソウ

(ラン科)



アマドコロ (ユリ科)



ヤマゲワの実 (クワ科)

ヤマホタルブクロ

(キキョウ科)



オオナルコユリ (ユリ科)



ツルアジサイ (ユキノシタ科)

